

No.27 消防防災体制強化推進事業 (総務課)

令和2年度にめざした姿(目的)

災害時において、自助・共助による防災体制の強化を図るとともに、だれ一人取り残されない自助・共助・公助が連動した災害対応体制を整えます。

令和2年度にめざした成果

ご近所同士の助け合いのしくみなど自主防災組織の機能強化を図ります。

令和2年度にめざした活動(主な取組み)

災害時要援護者の情報（住居・必要な支援内容等）を地域で共有していただくとともに、必要に応じ関係機関との情報共有による一人ひとりの要援護者に対して複数の方で支えられる体制づくりを進めます。

令和2年度の成果

- ①説明会等を2地域振興協議会及び10集落延べ19回開催しました。
- ②支え愛マップづくりの推進の結果4集落（上阿賀、法勝寺4区、法勝寺6区、早田）でマップづくりができました。

令和2年度の問題

- ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、人の集まる機会が大幅に制限されたことから、説明会などの実施が計画どおりに進みませんでした。
- ②支え愛マップの中で空白地帯があり、原因としては個人情報掲載の同意がとれないという背景がありました。

令和3年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①地区防災計画の取組と並行し、自主防災組織の新規立ち上げに取り組みます。
- ②相談はあるので、いかに実施に向かっていただくか社協と連携して後押しの体制を整え啓発を強化していきます。

(2) 解決すべき問題への方策

- ①自主防災組織の新規立ち上げに向けて啓発及び説明会を行います。
- ②個人情報の取り扱いについて啓発及び説明会を行います。

(3) 新たに取り組む方策

- ①自主防災組織の立ち上げと活動の組織化、防災意識向上のための説明会を進めます。
- ②支え愛マップの目的と災害時の個人情報の共有意義と個人情報保護のルール作りを進めます。